

## 令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	地歴公民	科目	日本史A	単位数	2	学年・学科	3学年・全学科(選択)
教科書	第一学習社「高等学校 改訂版日本史A 人・くらし・未来」		副教材	第一学習社「日本史Aノート」			

学習目標	<p>○近・現代を中心とした日本史に興味を持ち、理解を深めた上で、歴史的思考力を養いながら、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を育てます。</p> <p>○歴史の展開をその推移や変化、因果関係、地理的条件や世界史との関連づけ等の考察を通して、大きくとらえる力を養います。</p>
学習方法	<p>○教科書に沿って作成した授業プリントを使用し、基礎事項を確認した上で、単元ごとに設定されたテーマについて考察します。</p> <p>○資料を収集してまとめ、発表します。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考查	考查以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする姿勢が見られる。	前期中間	25 %	12	13
			前期末	25 %	12	13
			後期中間	25 %	12	13
			後期末	25 %	12	13
	b 思考・判断・表現	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界的視野に立って我が国を取り巻く国際環境を関連づけて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ、公正に判断できる。	前期中間	25 %	12	13
			前期末	25 %	12	13
			後期中間	25 %	12	13
			後期末	25 %	12	13
	c 技能	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用することを通し、歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、その考察の過程や結果を適切に表現できる。	前期中間	25 %	12	13
			前期末	25 %	12	13
			後期中間	25 %	12	13
			後期末	25 %	12	13
d 知識・理解	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して活用することを通し、歴史的事象を追求する方法を身につけるとともに、その考察の過程や結果を適切に表現できる。	前期中間	25 %	12	13	
		前期末	25 %	12	13	
		後期中間	25 %	12	13	
		後期末	25 %	12	13	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	第1部私たちの時代と歴史 第2部第1章近代国家の形成と国際関係の推移 第1節近代への胎動 第2節明治維新 第3節近代国家の確立	・農耕の開始や農業の発達をもたらした社会の変化、土地制度や税制の変化を中心に、古代・中世・近世の歴史をふりかえります。	○	○		○	a:古代から中世の歩みに対して関心を持っている。 b:環境の変化と幕藩体制について具体的に考察し、適切に表現できる。 c:江戸時代の日本の対外関係について資料を収集し、得られた資料を適切に活用できる。 d:近代文化の基盤となる江戸時代後期の産業や思想、開国にいたる経緯と幕府の対応について理解し、開国以降の情勢と幕府崩壊の流れを理解している。また、明治政府により近代日本の基盤が形成されたことを理解できる。	・授業態度 ・授業プリント ・発問評価 ・授業ノート ・授業ワーク ・定期考查
		・江戸時代の国際関係、江戸時代後期の社会、近代思想、幕藩体制の動揺について学びます。	○	○	○	○		
		・江戸幕府の崩壊、明治政府の成立、立憲政治の確立について学びます。	○	○	○	○		

前 期 末	第4節対外関係の変化 第5節政党政治の展開 第2章近代産業の発展 と両大戦をめぐる国際 情勢	・条約改正、日清戦争、日露戦争前後の対外関係の変化といった国際関係の推移を学びます。	○	○	○	○	a: 条約改正の流れと背景にある国際関係の推移に関心が高い。 b: 第一次護憲運動から大正政変に至るまでの一連の経緯について思考を深め、適切に表現できる。 c: 日清戦争・日露戦争の経緯とその背景についての資料をまとめ、活用できる。 d: 資本主義の発展と産業構造の変化についてや、第一次世界大戦の経緯とその影響、軍部台頭の背景を理解できる。	・授業態度 ・授業プリント ・発問評価 ・授業ノート ・授業ワーク ・定期考査
	第1節近代産業の発展 と社会運動の展開	・国内政治における政党政治の展開を、大きな流れとして学びます。	○	○	○	○		
		・日本における産業革命の進行と、それに伴う社会や国民生活の変化について学びます。	○	○	○	○		
後 期 中 間	第2節国民生活の変化 と文化 第3節第一次世界大戦 と日本 第4節第二次世界大戦 と日本	・第一次・第二次の世界大戦がなぜおこり、どのような結果や影響をもたらしたのかを学びます。	○	○	○	○	a: 世界恐慌やファシズムなど、第二次大戦の背景となった国際情勢に関心を高め、意欲的に追求している。 b: 軍部の台頭にともなう政治情勢の変化について思考を深め、適切に判断している。 c: 日中戦争に至る大陸情勢の推移についての資料を活用している。 d: 太平洋戦争の経緯と当時の国際関係、戦時下の国民生活について理解できる。	・授業態度 ・授業プリント ・発問評価 ・授業ノート ・授業ワーク ・定期考査
		・日本の国内政治の動向や、国際社会における日本の行動は、当時の世界の流れと密接な関係があることを学びます。	○	○	○	○		
後 期 末	第3部第1章現代の日本 と世界 第1節日本の再出発 第2節独立後の政治と 対外関係	・終戦後、連合国の占領を受けた日本がどのように復興していくのか、世界情勢とのかかわりから学んでいきます。	○	○	○	○	a: 連合国の対日占領政策と民主化政策の内容を理解できる。 b: 日本国憲法の成立過程について思考を深め、表現することができる。 c: 高度経済成長の経緯とその背景にある国際関係についての資料を活用することができる。 d: バブル経済以降の今日の日本が抱える国内外の課題について理解できる。	・授業態度 ・授業プリント ・発問評価 ・授業ノート ・授業ワーク ・定期考査
	第2章現代日本の国民 生活 第1節経済の発展と国民 生活の変化	・経済大国となった日本の課題と、国際社会に果たすべき役割について学び、さらに、その中で個人として果たすべき役割についても考察していきます。	○	○	○	○		
		・太平洋戦争以後から現在までの国民生活の変化を、衣食住や文化の視点から学びます。その際、現在との関連性や連続性を見だし、現在に生きる私たちが歴史の中にいることを感じられるようになってほしいと考えています。	○	○	○	○		